

**TOSHIBA**

# ハードウェア構成ガイド

---

**MAGNIA**

7200

本ガイドは MAGNIA7200 本体とそれに内蔵可能なオプション周辺機器を記載したものです。  
本ガイドに記載の各製品は、MAGNIA シリーズ以外での動作保証をしておりませんのでご注意ください。  
本ガイドに記載されていない通信ボード、ストレージ関連、無停電電源装置などのオプション周辺機器を接続したい場合には、ハードウェア構成ガイド「オプション編」をご参照ください。

**注意：**

本ハードウェア構成ガイドに記載されているオプション周辺機器には、サービスステーションへの取り付け依頼が必要なものがあります。MAGNIA 本体に同梱の取扱説明書で取り付け方法を確認のうえ、取り付け依頼が必要な場合は、サービスステーションまたは営業担当窓口へご依頼ください(取り付けは有償です)。

## もくじ

MAGNIA7200	システム構成図の利用法について	2
	基本仕様	3
	ハードウェア基本構成図	4
	外観図	4
	システム構成手順について	5～6
	システム構成図（本体同時購入用）	7～9
	増設用オプション一覧	10
	構成早見表	11
	ハードウェア構成例	12～13
ハードウェア一覧	14	

# システム構成図の利用法について

システム構成を容易に構築できるように機種のシステム構成図が記載されています。  
ここではそれらのシステム構成図の利用法、見方について簡単に説明しています。

## ●システム構成手順について

MAGNIA シリーズは、機種固有のモデル構成を備えています。

機種固有のモデル構成により、機種毎のシステム構築方法、オプションの組み合わせが異なってきます。

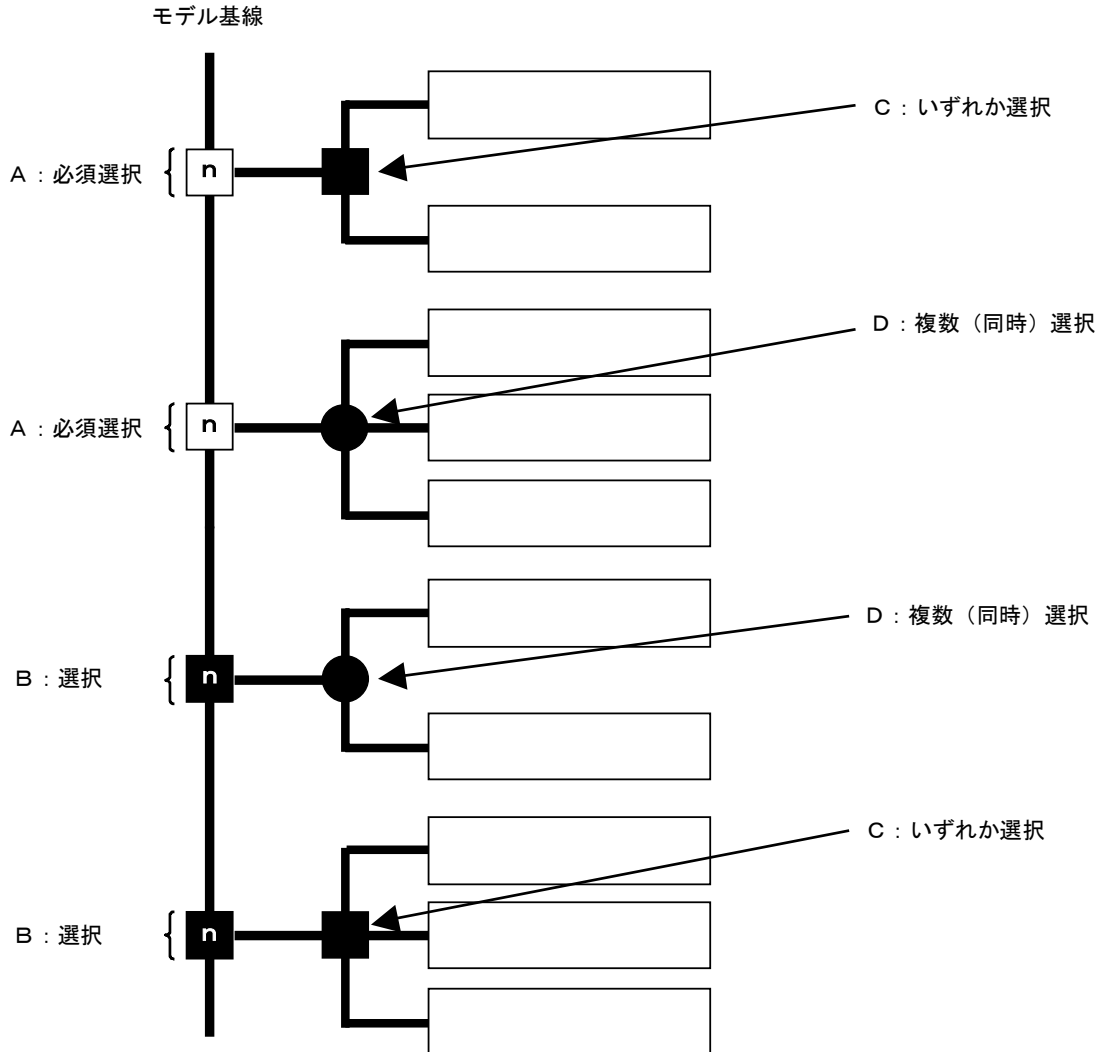
その構築方法とオプションの組み合わせ手順を「システム構成手順について」に記載してありますので、各機種の構成手順に従って「システム構成図」から必要なオプションをお選びください。

「システム構成手順について」は、各機種のシステム構成図の前頁に記載してあります。

## ●システム構成図の見方について

サーバ本体の各モデルに対して、組み合わせが可能なオプションを以下のように表わしています。

組み合わせが可能な範囲で各オプションの選択を行なってください。



A : システムを構築する上で必ず必要となるオプションです。また、システム搭載 (接続) できる台数は n 台までとなります。

B : システムを構築する上では必ずしも必要ではないが、搭載 (接続) することで性能または機能の向上が図れます。

また、システムに搭載 (接続) できる台数は n 台までとなります。

C : オプションを同時に選択することはできないが、n 台の範囲でいずれかを搭載 (接続) できます。

D : n 台の範囲でいずれかのオプションを同時に選択することや複数選択することができます。

※ 組み合わせが可能なオプションの台数は各モデルの標準搭載の空きスロットによるもので、たとえば磁気ディスク装置やメモリなどの容量を拡張する際に標準搭載のモジュールを取り外す場合などはこの限りではありません。

※ システム構成図に記載されている条件や注意事項も合わせて参照願います。

# 基本仕様

機種名		MAGNIA7200		
モデル名		BS (タワータイプ) / BSR (ラックタイプ)	W (タワータイプ) / WR (ラックタイプ)	WA (タワータイプ) / WAR (ラックタイプ)
形番		SYU3850A SYU3859A	SYU3850B SYU3859B	SYU3850C SYU3859C
CPU	メインプロセッサ		Intel®Xeon™ MP 1.40GHz/1.50GHz/1.60GHz (FSB:400MHz)	
	プロセッサ数	標準	-	
		最大	4	
	L2 キャッシュ	256KB/CPU		
L3 キャッシュ	512KB/CPU (1.40GHz/1.50GHz), 1MB/CPU (1.60GHz)			
メインメモリ (ECC 付き)	標準		-	
	最大		12GB (DDR200 SDRAM, Chipkill 対応)	
	増設単位		512MB/1GB/2GB/4GB	
補助記 憶装置	HDD	標準 -		
	最大 (本体内蔵)	1460GB (146GB×10 台)		
		増設 HDD (インタフェース)		
		36GB (Ultra160SCSI) S.M.A.R.T 対応 36GB/73GB/146GB (Ultra320SCSI) S.M.A.R.T 対応 (*1)		
ディスクベイ	標準	3.5 型×5 (ホットプラグ対応)		
	最大	3.5 型×5×2		
FDD	標準 3.5 型 (720KB/1.44MB) ×1			
RAID コントローラ		-		
ディスクキャッシュ	標準	128MB (RAID コントローラ TAH)		
	最大	256MB (RAID コントローラ TAH)		
オンボード SCSI		[Adaptec AIC-7899W×2] Ultra/Ultra2/Ultra160 SCSI×2		
電源装置	標準		3 台	
	最大		3 台 (冗長構成、ホットプラグ対応)	
CD-ROM 装置		48 倍速×1		
キーボード		(日本語 109 型) ×1 (ラックタイプはオプション)		
マウス		(PS/2) ×1 (ラックタイプはオプション)		
LAN インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T Ethernet オンボード標準 (AFT、ALB、WOL 対応) ×1 (*2) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T Ethernet オンボード標準 (AFT、ALB 対応) ×1 (*2)		
表示機能		ビデオ RAM 4MB		
I/O ポート	シリアルポート		2 チャンネル (RS-232C D-sub9 ビン)	
	パラレルポート		1 チャンネル (D-sub25 ビン)	
	マウスポート		1 チャンネル PS/2 互換	
	キーボードポート		1 チャンネル PS/2 互換	
	CRT インタフェース		1 チャンネル	
	USB ポート		3 チャンネル (背面×2、前面×1) (*3)	
デバイスベイ		5.25 型×3 (CD-ROM 装置が 1 スロット占有)		
I/O スロット	PCI-X (64bit/100MHz)		6 (内ホットプラグ対応は 4)	
	PCI (32bit/33MHz)		2	
冗長ファン		標準 (ホットプラグ対応)		
自動シャットダウン機能		-		
添付ソフトウェア (*4)		サーバ設定支援ソフト SetupInstructor、サーバ監視ソフト HarnessEye/web		
プレインストール		-	Microsoft® Windows®2000 Server (5CAL)	Microsoft® Windows®2000 Advanced Server (25CAL)
サーバ監視機能		標準		
電源		AC100V、50/60Hz		
消費電力		最大 900W		
本体エネルギー消費効率 (W/MTOPS) [J 区分] (*5)		0.0460 (1.40GHz)、0.0419 (1.50GHz)、0.0398 (1.60GHz)		
磁気ディスクエネルギー消費効率 [区分] (*6)		0.23W/GB[C] (36GB、15,000rpm)、0.19W/GB[B] (36GB、10,000rpm)、 0.11W/GB[B] (73GB、10,000rpm)、0.07W/GB[C] (146GB、10,000rpm)		
環境条件		温度: 10°C~35°C (ラックモデル 温度: 10°C~32°C)、湿度: 30%~80%		
本体寸法 (mm)		幅: 311、奥行き: 671、高さ: 460 (ラックモデル 幅: 447、奥行き: 650、高さ: 311)		
本体質量 (最大)		62kg		
対応 OS		Microsoft® Windows®2000 Server、Microsoft® Windows®2000 Advanced Server Turbolinux Server (*7)、Red Hat Linux (*7)		

\* 必須選択は、工場出荷時に必要となるものです。必ずご注文ください。

(\*1) Ultra320 動作については Ultra320 対応 RAID コントローラが必要です。

(\*2) AFT (Adapter Fault Tolerance): LAN の二重化

ALB (Adaptive Load Balancing): 複数の LAN を使用して送信帯域幅を向上させる機能

WOL (Wake On LAN): LAN 経由でサーバの電源を ON にする機能

(\*3) USB ポートは USB 対応周辺機器全ての動作を保証するものではありません。

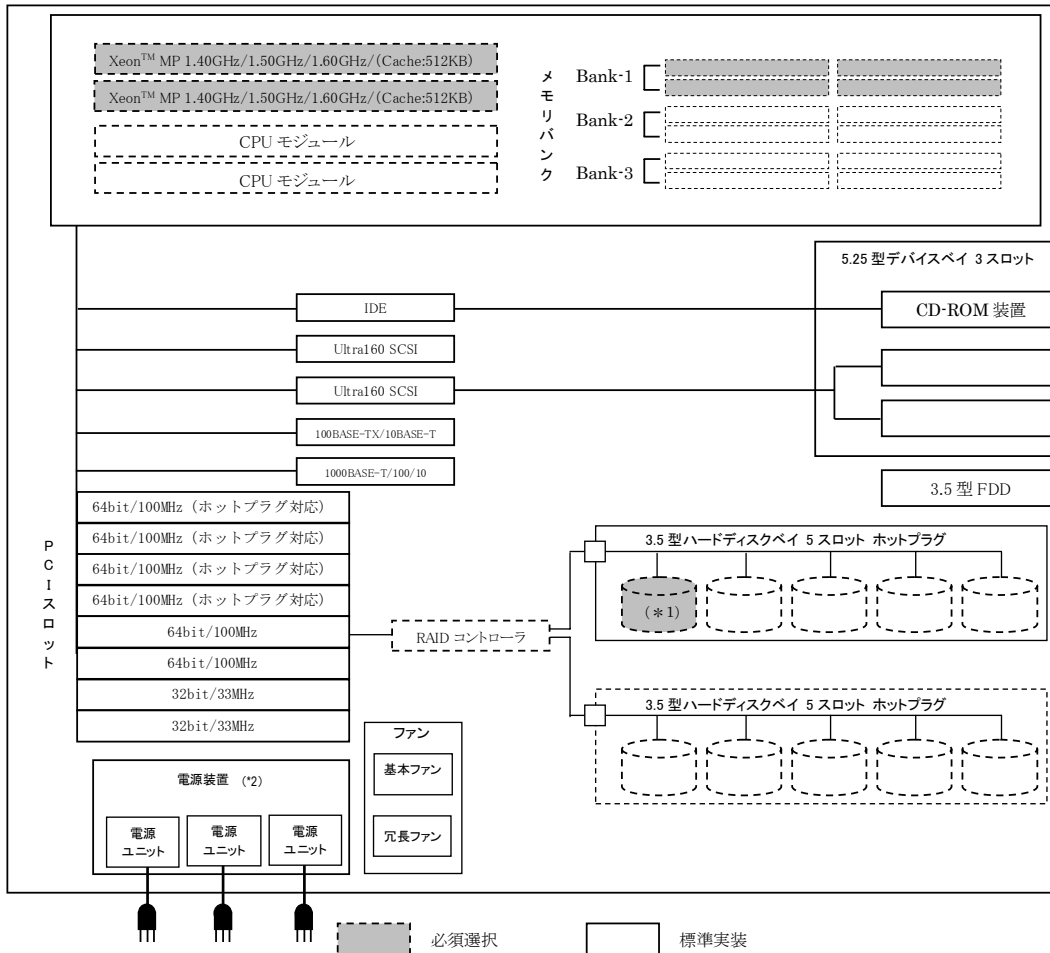
(\*4) サーバ運用支援ツールとして「リモート Wake on ツール」が添付されています。

(\*5) 本体エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

(\*6) 磁気ディスクエネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める記憶容量で除したものです。

(\*7) Linux 使用時の動作範囲については、商品情報ホームページ (<http://www.magnia.toshiba.co.jp/>) をご確認ください。詳細は担当営業までお問い合わせください。

# ハードウェア基本構成図



## 【Windows®2000 Server / Windows®2000 Advanced Server プレインストール設定内容】

●OS プレインストール付きモデル  
 選択された磁気ディスク装置に選択された RAID レベルの設定を行ない、4GB のシステムパーティションにそれぞれをインストールします (ファイルシステムは NTFS)。

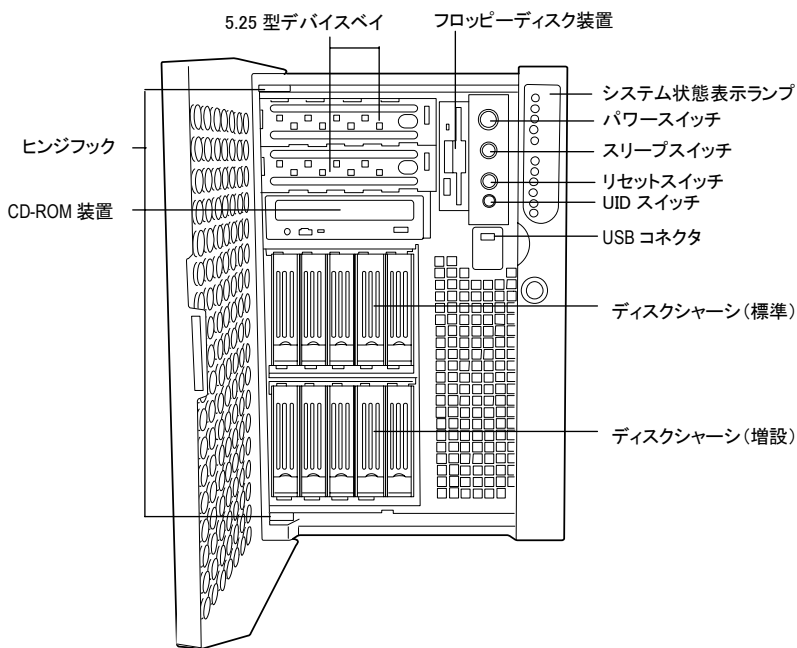
## 【注意事項】

- (\*1) プレインストールの場合は、RAID を構成するため、最低同一容量/回転数の磁気ディスクが 2 台必要になります。
- (\*2) AC コンセントが 3 個必要となります。

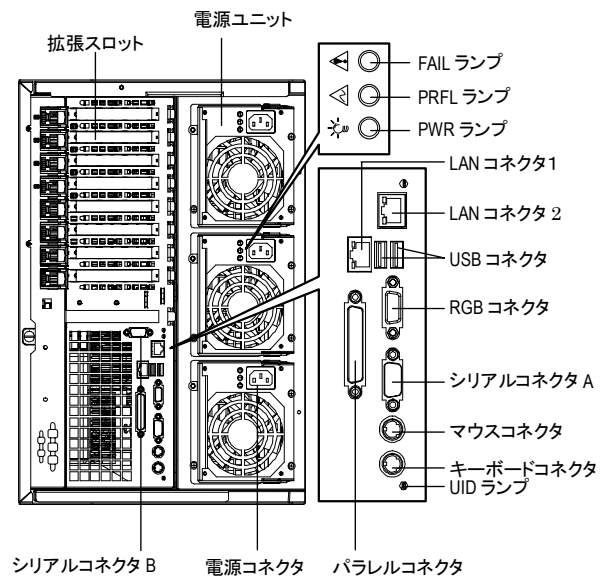
※42U ラック (CAB3551C) / 24U ラック (CAB3551B) に収納する場合は、ラック側にファンユニットを取り付ける必要があります。また、42U ラック (CAB3551C) の場合はラックフロントドア A (CAB3566A) を、24U ラック (CAB3551B) の場合は、ラックフロントドア B (CAB3567A) を取り付ける必要があります。

# 外観図

正面



背面



# システム構成手順について

MAGNIA シリーズは機種固有のモデル構成を備えています。

システム構成を構築するにあたって、サーバ本体の各モデル毎に必要なオプションの選択手順を以下に記載してあります。手順にしたがって「システム構成図」から必要なオプションをお選びください。

## 1. サーバ本体の選択

サーバ本体を選択します。サーバ本体は、タワーモデルかラックモデルかと OS プレインストール付きかにより、以下の 6 つのモデルがあります。目的にあったものを選択してください。

	タイプ	CPU	メモリ	磁気ディスク装置	OS プレインストール	キーボード・マウス
SYU3850A	タワー型	なし	なし	なし	なし	付属
SYU3850B					Windows®2000 Server	
SYU3850C					Windows®2000 Advanced Server	
SYU3859A	ラック型	なし	なし	なし	なし	なし
SYU3859B					Windows®2000 Server	
SYU3859C					Windows®2000 Advanced Server	

## 2. CPU モジュールの選択（必須選択）

CPU モジュールを選択します。CPU モジュールは Xeon™ MP 1.40GHz/1.50GHz/1.60GHz の 3 種類があり、サーバ本体に最大 4CPU まで搭載できます。

各 CPU モジュールは、1 つの営業形番で 2CPU 構成となっていますので、最大 4CPU まで実装する場合は同じ形番を 2 つご注文ください。ただし、周波数の異なる CPU モジュールを混在することはできません。

サーバ本体には、CPU が実装されていないので、いずれか 1 種類の CPU モジュールを必ず選択してください。

## 3. メモリユニットの選択（必須選択）

メモリユニットを選択します。メモリユニットは、512MB/1GB/2GB/4GB の 4 種類があり、最大 12GB（4GB×3）まで実装が可能です。各メモリモジュールは 4 枚 1 組で構成されており、例えば 512MB メモリユニットでは 128MB×4 となり、メモリスロットは、物理的に 12 個存在し、4 スロットで 1 つのバンクを構成します。

なお、2 組以上のメモリユニットを組み合わせて増設する場合は、P.7 の組み合わせ条件の範囲で行なってください。

メモリユニットは最大 3 組まで選択できます。いずれか 1 種類のメモリユニットを必ず 1 組は選択してください。

## 4. RAID コントローラの選択（必須選択）

RAID コントローラを選択します。RAID コントローラは、RAID コントローラ TAH の 1 種類のみとなります。

## 5. 磁気ディスク装置の選択（必須選択）

磁気ディスク装置を選択します。磁気ディスク装置は、36GB/73GB/146GB（SCSI インターフェース、Ultra320、10,000rpm）、36GB（SCSI インターフェース、Ultra160、15,000rpm）の 4 種類があり、最大 1460GB（146GB×10）まで実装できます。プレインストールモデルでは RAID 構成をするため、最低同一容量/回転数の磁気ディスク 2 台が必要です。

6 台以上の磁気ディスクを実装する場合は、ディスクシャーシ C（CAB3529A）が必要です。

なお、同一 RAID グループでは、容量/回転数の異なる磁気ディスク装置との混在はできません。

## 6. RAID 設定の選択

サーバ本体の選択で、OS プレインストールがあるモデルを選んだ場合は、必ず RAID 設定を選択してください。

<SYU3850B/C、SYU3859B/C の場合>

RAID セレクト A/B（RAID1/5）から選択し、OS プレインストールの指定と同様にサーバ本体と同時にご注文ください。

SCSI ハードディスクと RAID 設定一覧

HDD 台数	2 台	3 台	4 台～10 台
RAID 設定			
RAID セレクト A	2[RAID1]+0	2[RAID1]+1	2[RAID1]+2～8
RAID セレクト B	—	3[RAID5]+0	3[RAID5]+1～7

<SYU3850A、SYU3859A の場合>

RAID 設定は行なえません。

## 7. ディスプレイの選択

ディスプレイを選択します。カラーCRT ディスプレイ 15 型-A と 12.1 型液晶モニターの 2 種類があります。

目的にあったものを選択してください。

## 8. キーボード・マウスの選択

キーボード、マウスを選択します。タワーモデルには、キーボード、マウスが添付されていますが、ラックモデルには添付されていません。

マウスとセットになったキーボードか、ポインティングデバイス付きのキーボードの2種類から選択してください。

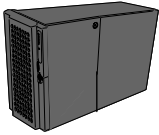
### ◎本体同時購入用オプションと増設用オプションについて

本体同時購入用オプションは、サーバ本体と同時にご注文いただくことが条件となり、サーバ本体とオプションを同時に注文し、工場にて組み込みを行なう場合のオプションです。

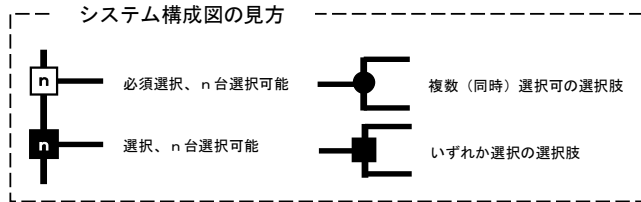
すでにお客さまのお手元にあるサーバ本体にオプションを増設する場合は、本体同時購入用オプションではなく、増設用オプションから選択してください。



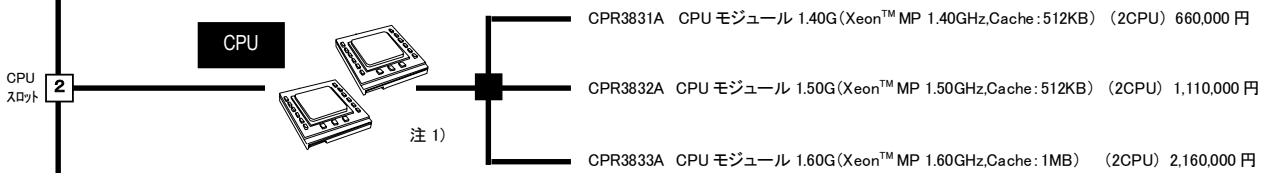
# システム構成図 (本体同時購入用)



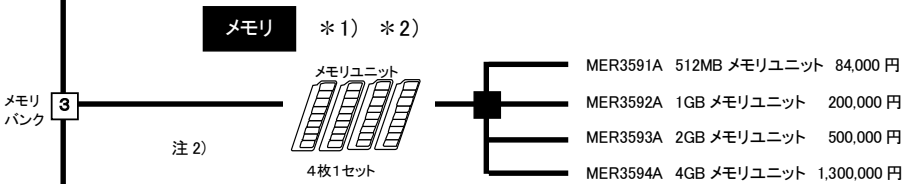
サーバ本体



- SYU3850A** MAGNIA7200/BS <タワーモデル>  
 1,130,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載,109 型キーボード,PS/2 マウス付属 (ブレイクインストール OS 無し)
- SYU3850B** MAGNIA7200/W <タワーモデル>  
 1,290,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ,RAID 設定:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載,109 型キーボード,PS/2 マウス付属 (Windows®2000 Server(5 クライアントライセンス付))
- SYU3850C** MAGNIA7200/WA <タワーモデル>  
 1,780,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ,RAID 設定:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載,109 型キーボード,PS/2 マウス付属 (Windows®2000 Advanced Server(25 クライアントライセンス付))
- SYU3859A** MAGNIA7200/BSR <ラックモデル>  
 1,180,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載(109 型キーボード,PS/2 マウス無し) (ブレイクインストール OS 無し)
- SYU3859B** MAGNIA7200/WR <ラックモデル>  
 1,340,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ,RAID 設定:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載(109 型キーボード,PS/2 マウス無し) (Windows®2000 Server(5 クライアントライセンス付))
- SYU3859C** MAGNIA7200/WAR <ラックモデル>  
 1,830,000 円  
 CPU,メモリ,HDD,RAID コントローラ,RAID 設定:必須選択  
 CD-ROM 装置:48 倍速,3.5 型 FDD,LAN インタフェース標準搭載(109 型キーボード,PS/2 マウス無し) (Windows®2000 Advanced Server(25 クライアントライセンス付))



注 1) 異なる周波数/キャッシュサイズの CPU の混在はできません。最大 4CPU まで実装できます。CPR3831A および CPR3832A、CPR3833A は単独での注文(出荷)はできません。

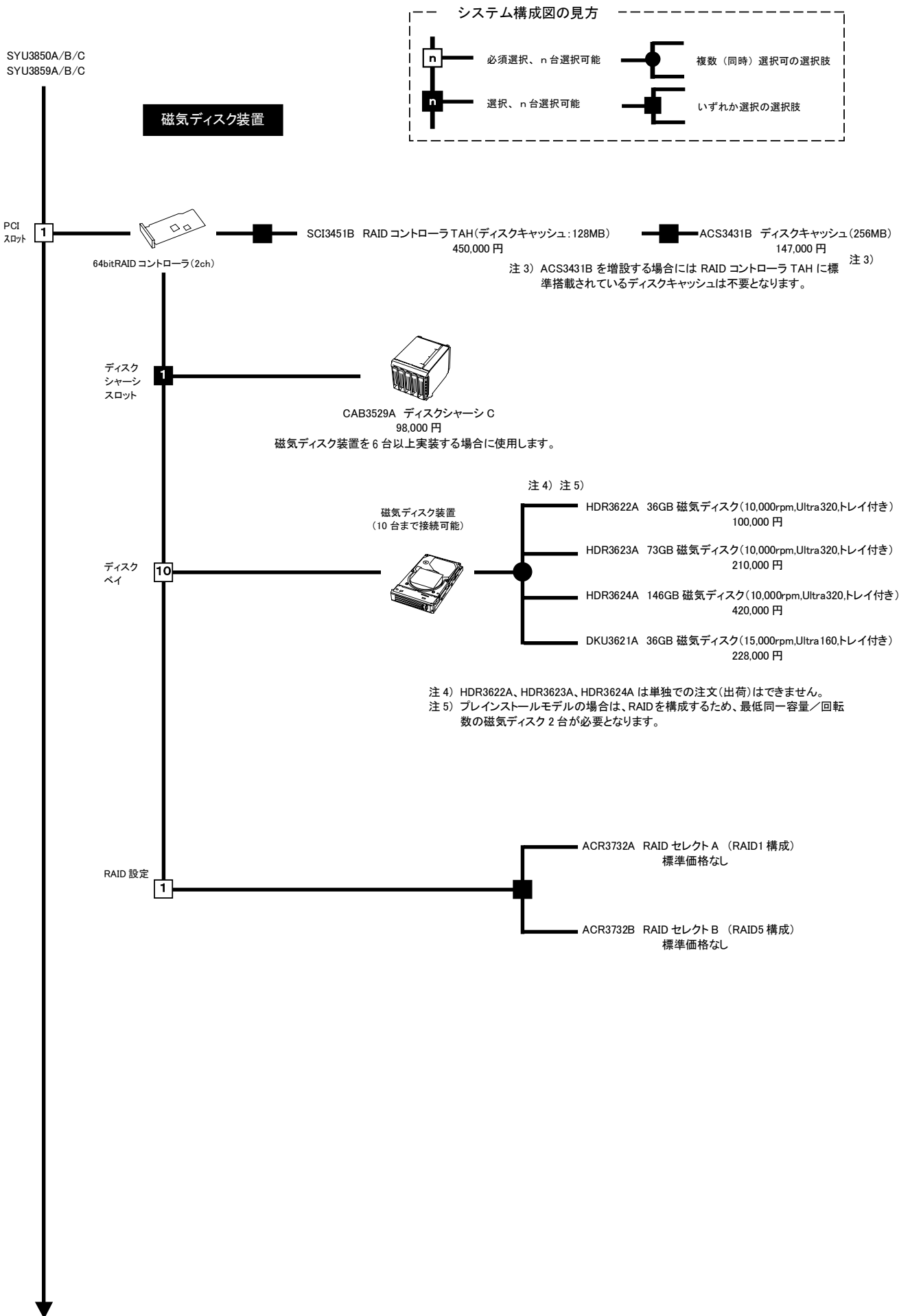


注 2) MER3591A、MER3592A、MER3593A、MER3594A は単独での注文(出荷)はできません。

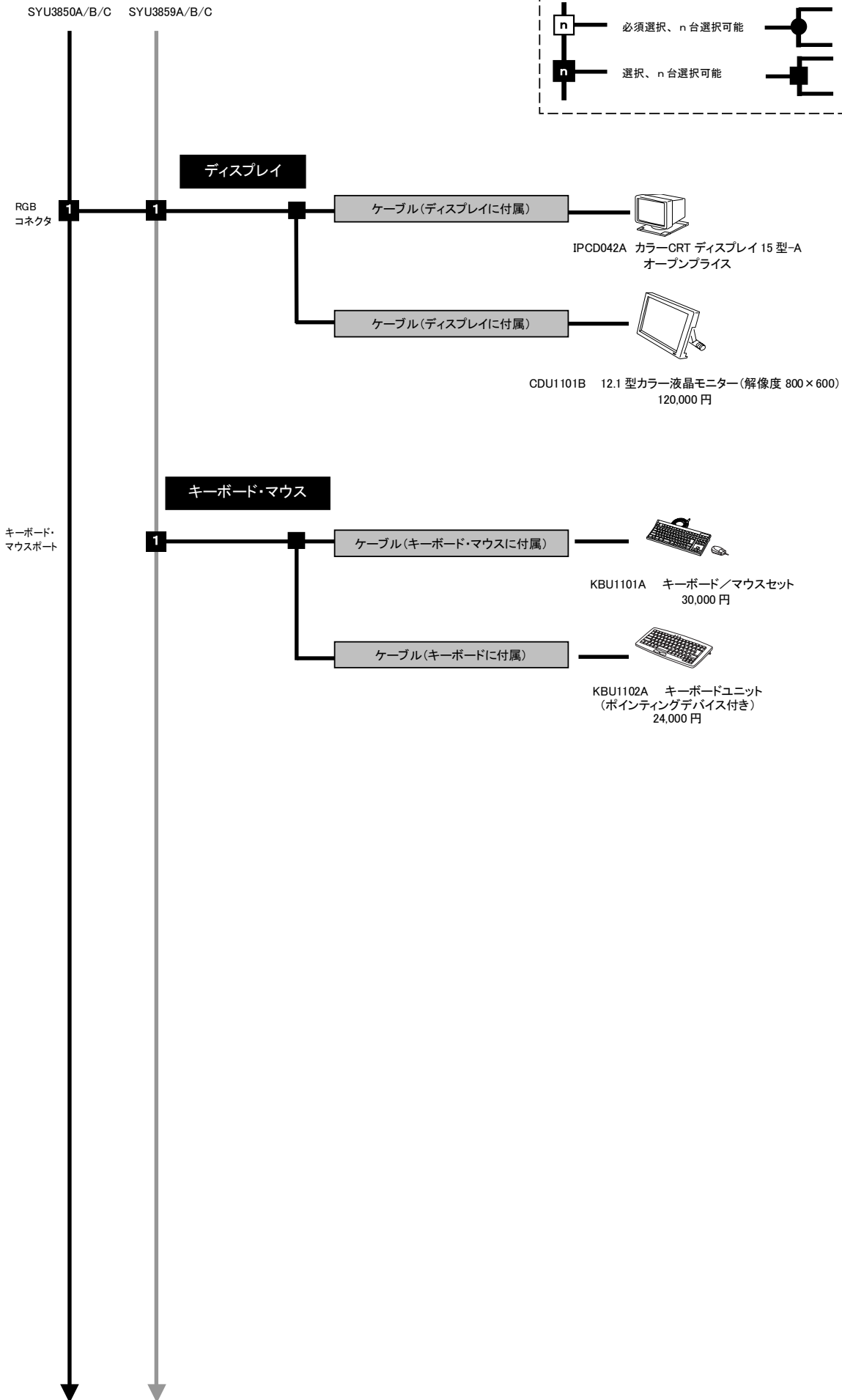
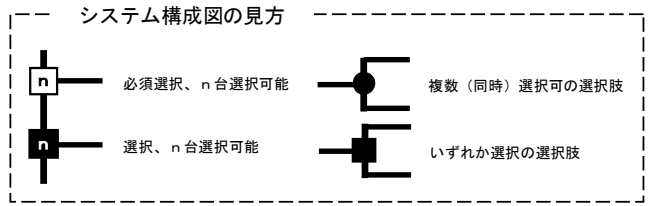
- \*1) メモリユニットの増設は、右の組み合わせで行なってください。
- \*2) 使用できる最大物理メモリ容量は、使用する OS によって異なります。Windows®2000 Server の最大物理メモリ容量は 4GB です。Windows®2000 Advanced Server の最大物理メモリ容量は 8GB です。ただし、メモリを 4GB まで増設した場合、RAID コントローラの TAH が実装されているシステムでは、設定により 128MB~256MB のメモリ領域が PCI バス上のメモリとして割り当てられるため、この領域分のメモリ容量を OS から使用できません。

No	Bank-1	Bank-2	Bank-3	合計
1	4096MB	4096MB	4096MB	12288MB
2	2048MB	4096MB	4096MB	10240MB
3	1024MB	4096MB	4096MB	9216MB
4	512MB	4096MB	4096MB	8704MB
5	4096MB	4096MB	—	8192MB
6	2048MB	2048MB	4096MB	8192MB
7	2048MB	4096MB	—	6144MB
8	2048MB	2048MB	2048MB	6144MB
9	1024MB	1024MB	4096MB	6144MB
10	1024MB	4096MB	—	5120MB
11	1024MB	2048MB	2048MB	5120MB
12	512MB	512MB	4096MB	5120MB
13	512MB	2048MB	2048MB	4608MB
14	512MB	4096MB	—	4608MB
15	4096MB	—	—	4096MB
16	2048MB	2048MB	—	4096MB
17	1024MB	1024MB	2048MB	4096MB
18	1024MB	1024MB	1024MB	3072MB
19	512MB	512MB	2048MB	3072MB
20	1024MB	2048MB	—	3072MB
21	512MB	1024MB	1024MB	2560MB
22	512MB	2048MB	—	2560MB
23	2048MB	—	—	2048MB
24	1024MB	1024MB	—	2048MB
25	512MB	512MB	1024MB	2048MB
26	512MB	512MB	512MB	1536MB
27	512MB	1024MB	—	1536MB
28	1024MB	—	—	1024MB
29	512MB	512MB	—	1024MB
30	512MB	—	—	512MB

# システム構成図（本体同時購入用）



# システム構成図（本体同時購入用）



## 増設用オプション一覧

増設用オプションは、すでにお客さまのお手元にあるサーバ本体に増設を行なう場合のオプションです。  
 既存システムの空きスロットをご確認の上、必要なオプションを選択してください。  
 なお、サーバ本体と同時に購入を行なう場合は、本体同時購入用オプションから選択してください。

### CPU

形番	品名	価格	備考
UPG3831A	CPU モジュール 1.40G	500,000 円	Xeon™ MP 1.40GHz×1、Cache : 512KB
UPG3832A	CPU モジュール 1.50G	750,000 円	Xeon™ MP 1.50GHz×1、Cache : 512KB
UPG3833A	CPU モジュール 1.60G	1,500,000 円	Xeon™ MP 1.60GHz×1、Cache : 1MB

※周波数の異なる CPU との混在はできません。

### メモリ

形番	品名	価格	備考
MMU3591A	512MB メモリユニット	110,000 円	128MB×4、DDR200
MMU3592A	1GB メモリユニット	300,000 円	256MB×4、DDR200
MMU3593A	2GB メモリユニット	700,000 円	512MB×4、DDR200
MMU3594A	4GB メモリユニット	1,800,000 円	1GB×4、DDR200

※メモリの増設にあたっては、P.7の組み合わせや注意、制限事項に留意してください。

### RAID コントローラ

形番	品名	価格	備考
ACS3431B	ディスクキャッシュ	147,000 円	256MB、SCI3451B 用

### 磁気ディスク装置

形番	品名	価格	備考
CAB3529A	ディスクシャーシ C	98,000 円	HDD トレイ×5、SCSI ケーブル×1 付き
DKU3621A	36GB 磁気ディスク	228,000 円	15,000rpm、Ultra160
DKU3622A	36GB 磁気ディスク	165,000 円	10,000rpm、Ultra320
DKU3623A	73GB 磁気ディスク	250,000 円	10,000rpm、Ultra320
DKU3624A	146GB 磁気ディスク	640,000 円	10,000rpm、Ultra320

### ラックマウントキット

形番	品名	価格	備考
CAB3565A	ラックマウントキット S10	136,000 円	タワー型の MAGNIA7200 をラックマウント型にする場合のキット

### ディスプレイ

形番	品名	価格	備考
IPCD042A	カラーCRT ディスプレイ 15 型-A	オープンプライス	
CDU1101B	12.1 型カラー液晶モニター	120,000 円	解像度 800×600

### キーボード・マウス

形番	品名	価格	備考
KBU1101A	キーボード/マウスユニット	30,000 円	
KBU1102A	キーボードユニット (ポインティングデバイス付き)	24,000 円	

# 構成早見表

MAGNIA7200 で構成可能な主要オプションの一覧です。選択したものをチェックしていくことで素早く構成を組むことができます。本頁をコピーしてご活用ください。

なお、詳細についてはシステム構成図を参照してください。

- ・ラックモデルにはキーボード・マウスが添付されていません。
- ・CPU、メモリ、RAID コントローラ、磁気ディスク装置、RAID 設定は必須です。

## サーバ本体

MAGNIA7200/BS	SYU3850A	1,130,000 円	タワーモデル、OS 無し
MAGNIA7200/W	SYU3850B	1,290,000 円	タワーモデル、Windows®2000 Server
MAGNIA7200/WA	SYU3850C	1,780,000 円	タワーモデル、Windows®2000 Advsned Server
MAGNIA7200/BSR	SYU3859A	1,180,000 円	ラックモデル、OS 無し
MAGNIA7200/WR	SYU3859B	1,340,000 円	ラックモデル、Windows®2000 Server
MAGNIA7200/WAR	SYU3859C	1,830,000 円	ラックモデル、Windows®2000 Advsned Server

## メモリ

512MB メモリユニット	MER3591A	84,000 円
1GB メモリユニット	MER3592A	200,000 円
2GB メモリユニット	MER3593A	500,000 円
4GB メモリユニット	MER3594A	1,300,000 円

## CPU モジュール

CPU モジュール 1.40G	CPR3831A	660,000 円	Cache : 512KB
CPU モジュール 1.50G	CPR3832A	1,110,000 円	Cache : 512KB
CPU モジュール 1.60G	CPR3833A	2,160,000 円	Cache : 1MB

## RAID コントローラ

RAID コントローラ TAH	SCI3451B	450,000 円	
ディスクキャッシュ (256MB)	ACS3431B	147,000 円	SCI3451B 用

## 磁気ディスク装置

36GB 磁気ディスク	HDR3622A	100,000 円
73GB 磁気ディスク	HDR3623A	210,000 円
146GB 磁気ディスク	HDR3624A	420,000 円
36GB 磁気ディスク	DKU3621A	228,000 円

## 増設ディスクシャーシ

ディスクシャーシ C	CAB3529A	98,000 円
------------	----------	----------

## ディスプレイ

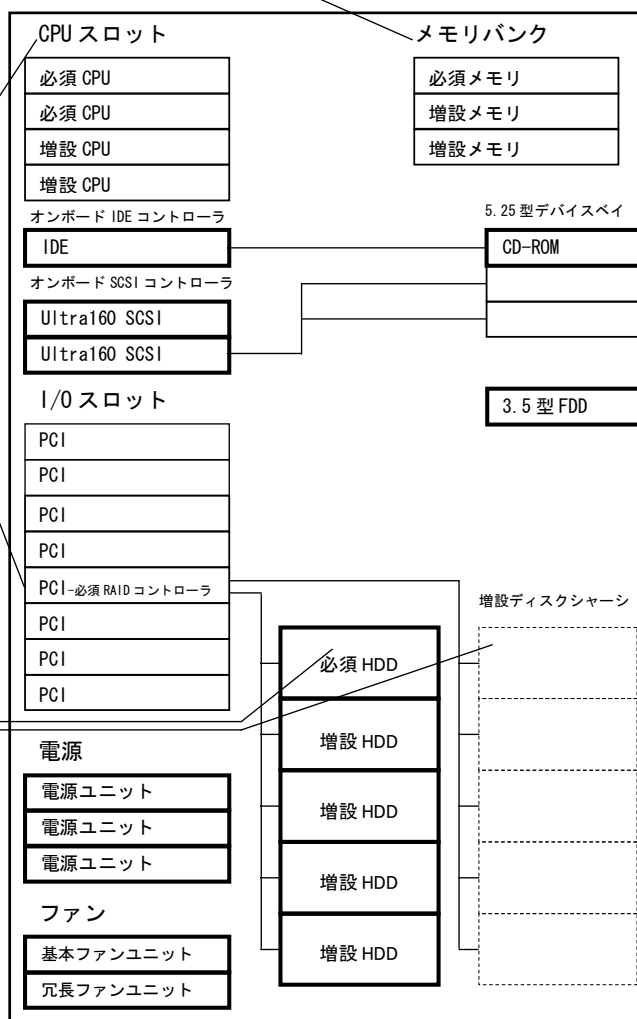
カラー CRT ディスプレイ 15 型-A	IPCD042A	オープンブライス
12.1 型カラー液晶モニター	CDU1101B	120,000 円

## キーボード・マウス

キーボード/マウスセット	KBU1101A	30,000 円
キーボードユニット (ポインティングデバイス付き)	KBU1102A	24,000 円

## RAID 構成

RAID セレクト A	ACR3732A	—	RAID1 構成
RAID セレクト B	ACR3732B	—	RAID5 構成

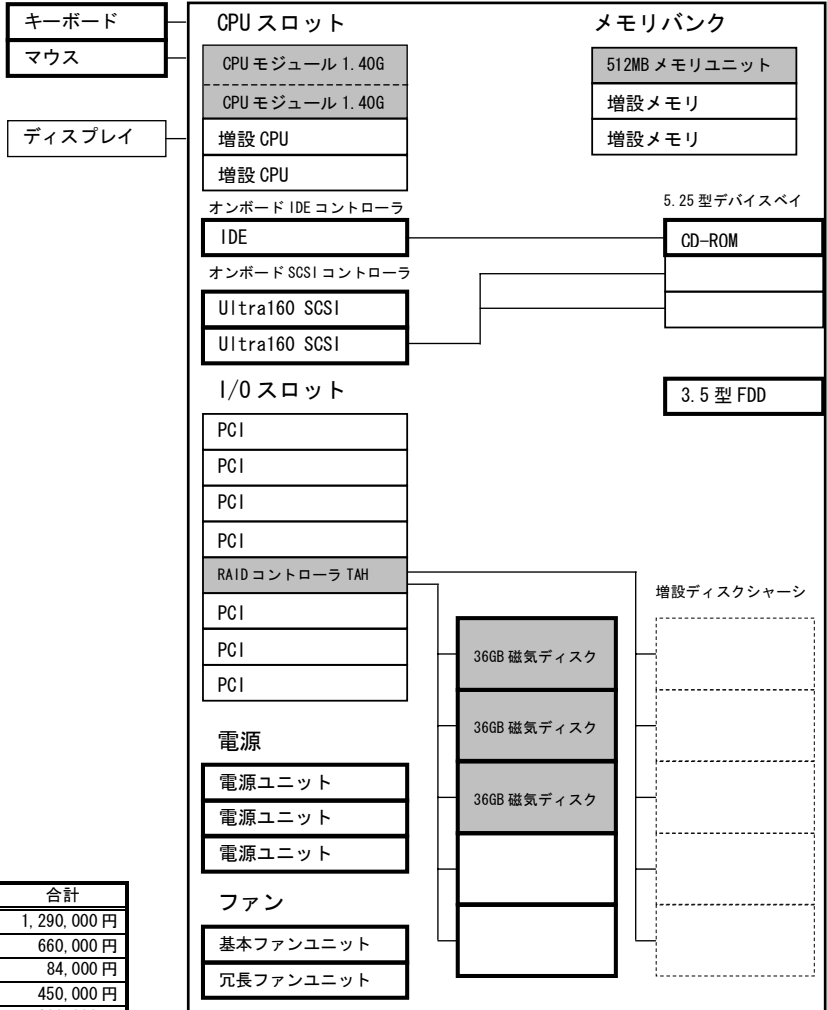


# ハードウェア構成例

MAGNIA7200 の代表的な構成例です。構成の参考にしてください。

## 構成例 1

CPU	Xeon™ MP 1.40GHz (512KB) × 2
メモリ	512MB
磁気ディスク装置	36GB (10,000rpm) × 3 (RAID5)
ディスクコントローラ	RAID コントローラ TAH
電源	冗長化
ファン	冗長化
OS プレインストール	Windows®2000 Server



## 構成

形番	品名	価格	数量	合計
SYU3850B	MAGNIA7200/W	1,290,000 円	1	1,290,000 円
CPR3831A	CPU モジュール 1.40G	660,000 円	1	660,000 円
MER3591A	512MB メモリユニット	84,000 円	1	84,000 円
SC13451B	RAID コントローラ TAH	450,000 円	1	450,000 円
HDR3622A	36GB 磁気ディスク	100,000 円	3	300,000 円
ACR3732B	RAID セレクト B	—	1	—

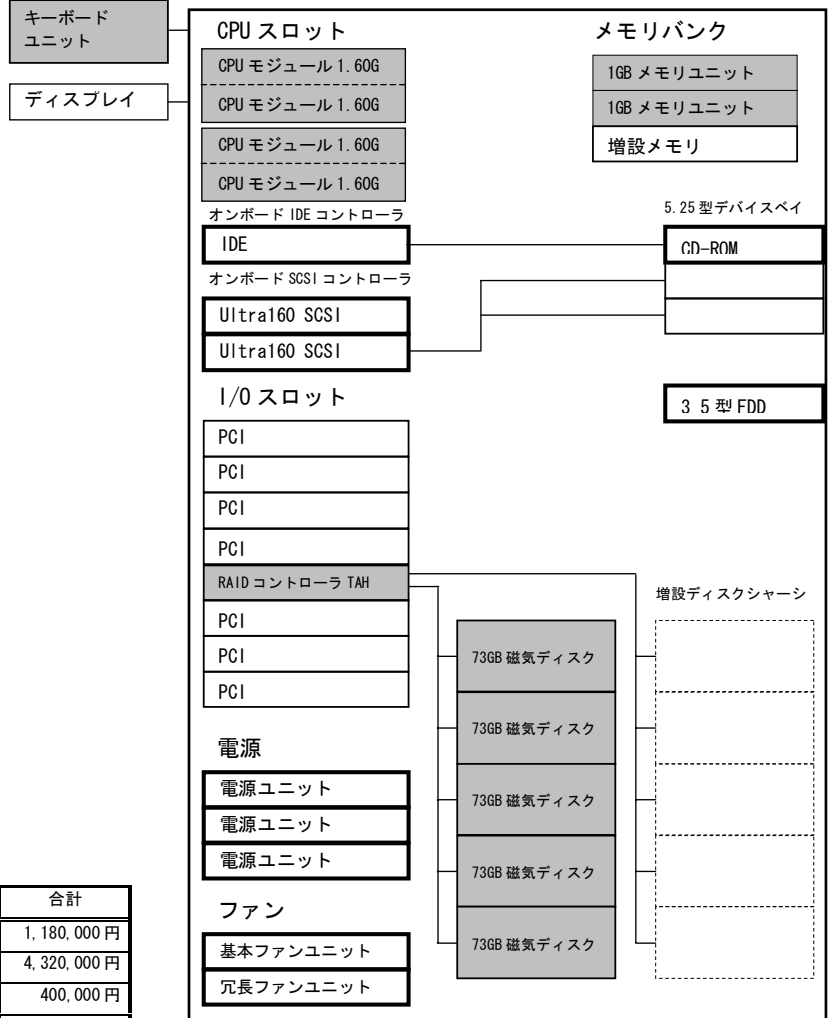
合計金額 2,784,000 円

□ : 本体標準  
 ■ : 選択機器

# ハードウェア構成例

## 構成例 2

CPU	Xeon™MP 1.60GHz (1M) × 2
メモリ	2GB (1GB×2)
磁気ディスク装置	73GB (10,000rpm) × 5
ディスクコントローラ	RAID コントローラ TAH
電源	冗長化
ファン	冗長化
キーボード	キーボードユニット
OS プレインストール	なし



## 構成

形番	品名	価格	数量	合計
SYU3859A	MAGNIA7200/BSR	1,180,000 円	1	1,180,000 円
CPR3833A	CPU モジュール 1.60G	2,160,000 円	2	4,320,000 円
MER3592A	1GB メモリユニット	200,000 円	2	400,000 円
SCI3451B	RAID コントローラ TAH	450,000 円	1	450,000 円
HDR3623A	73GB 磁気ディスク	210,000 円	5	1,050,000 円
KBU1102A	キーボードユニット	24,000 円	1	24,000 円

□ : 本体標準  
 ■ : 選択機器

合計金額 7,424,000 円

# ハードウェア一覧

下記表には製造中止のハードウェアも含まれている場合があります。

種別	品名	形番	標準価格(円)	リリース	備考
本体	MAGNIA7200/BS	SYU3850A	1,113,000	済	タワー型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:なし)
	MAGNIA7200/W	SYU3850B	1,290,000		タワー型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:Windows®2000 Server)
	MAGNIA7200/WA	SYU3850C	1,780,000		タワー型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:Windows®2000 Advanced Server)
	MAGNIA7200/BSR	SYU3859A	1,180,000		ラック型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:なし)
	MAGNIA7200/WR	SYU3859B	1,340,000		ラック型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:Windows®2000 Server)
	MAGNIA7200/WAR	SYU3859C	1,830,000		ラック型(CPU/メモリ/HDD:なし、OS:Windows®2000 Advanced Server)
CPU	CPU モジュール 1.40G	CPR3831A	660,000	済	Xeon™MP 1.40GHz(Cache:512KB)×2 本体同時購入用
	CPU モジュール 1.50G	CPR3832A	1,110,000		Xeon™MP 1.50GHz(Cache:512KB)×2 本体同時購入用
	CPU モジュール 1.60G	CPR3833A	2,160,000		Xeon™MP 1.60GHz(Cache:1MB)×2 本体同時購入用
	CPU モジュール 1.40G	UPG3831A	500,000		Xeon™MP 1.40GHz(Cache:512KB)×1 増設用
	CPU モジュール 1.50G	UPG3832A	750,000		Xeon™MP 1.50GHz(Cache:512KB)×1 増設用
	CPU モジュール 1.60G	UPG3833A	1,500,000		Xeon™MP 1.60GHz(Cache:1MB)×1 増設用
メモリ	512MB メモリユニット	MER3591A	84,000	済	128MB×4 (DDR200) 本体同時購入用
	1GB メモリユニット	MER3592A	200,000		256MB×4 (DDR200) 本体同時購入用
	2GB メモリユニット	MER3593A	500,000		512MB×4 (DDR200) 本体同時購入用
	4GB メモリユニット	MER3594A	1,300,000		1GB×4 (DDR200) 本体同時購入用
	512MB メモリユニット	MMU3591A	110,000		128MB×4 (DDR200) 増設用
	1GB メモリユニット	MMU3592A	300,000		256MB×4 (DDR200) 増設用
	2GB メモリユニット	MMU3593A	700,000		512MB×4 (DDR200) 増設用
	4GB メモリユニット	MMU3594A	1,800,000		1GB×4 (DDR200) 増設用
磁気ディスク 関連	ディスクシャーシ C	CAB3529A	98,000	済	HDDトレイ×5、SCSI ケーブル×1 付き
	36GB 磁気ディスク	HDR3622A	100,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 本体同時購入用
	73GB 磁気ディスク	HDR3623A	210,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 本体同時購入用
	146GB 磁気ディスク	HDR3624A	420,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 本体同時購入用
	36GB 磁気ディスク	DKU3621A	228,000		15,000rpm(Ultra160)、トレイ付き 本体同時購入/増設 併用
	36GB 磁気ディスク	DKU3622A	165,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 増設用
	73GB 磁気ディスク	DKU3623A	250,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 増設用
	146GB 磁気ディスク	DKU3624A	640,000		10,000rpm(Ultra320)、トレイ付き 増設用
	RAID コントローラ TAH	SCI3451B	450,000		Ultra160 SCSI、2ch、128MB キャッシュ
	ディスクキャッシュ	ACS3431B	147,000		256MB、SCI3451B 用
	RAID セレクト A	ACR3732A	—		RAID1 構成
	RAID セレクト B	ACR3732B	—		RAID5 構成
	ディスプレイ	カラー-CRT ディスプレイ 15 型-A	IPC0042A		オープンブライズ
12.1 型カラー液晶モニター		CDU1101B	120,000	1U、解像度 800×600(SVGA)、ACS3457B に格納可能	
キーボード	キーボード/マウスセット	KBU1101A	30,000	済	
	キーボードユニット (ポインティングデバイス付き)	KBU1102A	24,000		
ラック関連	ラックマウントキット S10	CAB3565A	136,000	済	タワー型の MAGNIA7200 をラックマウント型にする場合のキット
	ラックフロントドア A	CAB3566A	83,000		MAGNIA7200 を 42U ラック(CAB3551C) に収納する場合に必要な
	ラックフロントドア B	CAB3567A	78,000		MAGNIA7200 を 24U ラック(CAB3551B) に収納する場合に必要な



- MAGNIAは(株)東芝の商標です。
- Windows NT,Microsoft,MS,Windows,MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- LinuxはLinus Torvalds氏の商標です。
- Red HatはRed Hat,Inc.の米国及びその他の国における登録商標です。
- Turbolinux及びターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。
- Intel及びPentium,Xeon,celeronはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- IBM,Chipkillは、米国IBM Corporationの登録商標または商標です。
- Ethernetは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- LTO,Linear Tape-OpenおよびUltriumは、米国におけるHewlett-Packard,IBMおよびSeagateの商標です。
- OracleはORACLE Corporationの登録商標です。
- UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- PowerChute PlusはAmerican Power Conversion Corporationの登録商標です。
- Micro FocusはMicro Focus Corporationの登録商標です。
- The LSI LogicのロゴおよびMegaRAIDは、LSI Logic Corporation.の商標または登録商標です。
- NetscapeはNetscape Communications社の商標です。
- その他掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標もしくは登録商標として使用している場合があります。

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

サーバ・ネットワーク事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1 TEL(03)3457-3019



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず  
「取扱・操作に関する説明書」をよくお読み下さい。